

生命のもつ面白さや不思議さを堪能し、君の生物学を世界で競おう

日本生物学オリンピック

2012

JBO
Japan Biology Olympiad

日本生物学オリンピックは、高校生を主な対象として生物学の面白さや楽しさを体験してもらうことを目的とする全国規模のコンテストです。また、国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねています。あなたもチャレンジしてみませんか!

参加申込開始日

2012年4月2日 月

参加申込締切日

2012年5月31日 木

当日消印有効

参加者募集

参加費無料

予選開催日時

2012年7月15日 日

13:30~15:00

●予選会場詳細は.....

<http://www.jbo-info.jp/>

主催 国際生物学オリンピック日本委員会 **JBO**

共催 筑波大学 茨城県 茨城県教育委員会 つくば市 つくば科学万博記念財団
高等学校文化連盟全国自然科学専門 科学技術振興機構 日本科学技術振興財団

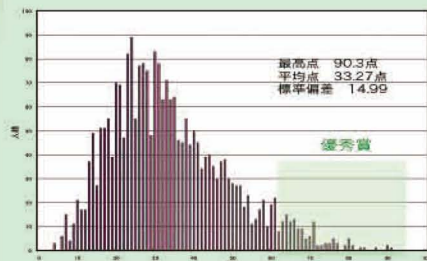
助成 社団法人東京倶楽部

協賛 東レ JT 味の素 キッコーマン 日本製薬団体連合会 Z会
日本ミリオパ科学とみどりのみらい基金 日本動物学会

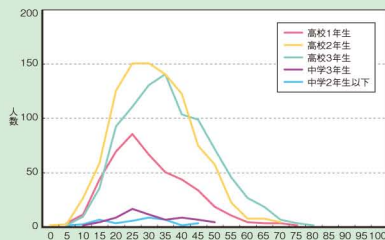
協力 はるやま商事

後援 文部科学省 生物科学学会連合

「日本生物学オリンピック2011」予選得点分布



「日本生物学オリンピック2009」(予選)学年別得点分布



高2と高3の成績は得点上位の部分以外には顕著な差は認められない。

日本生物学オリンピック予選参加者数年次変化

	高3年		高2年		高1年		中3年		中2年		中1年		小学生		その他		男	女	合計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
2009	386	502	383	563	236	206	39	28	22	6	6	1	1	0	11	5	1,084	1,311	2,395
	888		946		442		67		28		7		1		16				
2010	312	403	362	495	241	199	43	29	33	26	15	9	0	0	12	2	1,018	1,163	2,181
	715		857		440		72		59		24		0		14				
2011	364	550	444	592	189	198	41	17	16	15	13	3	0	0	8	3	1,075	1,378	2,453
	914		1,036		387		58		31		16		0		11				

参加申込締切日

2012年5月31日

当日消印有効

参加資格

20歳未満で大学に入学する前の青少年の皆さんです。具体的には以下の方々を対象になります。高等学校、高等専門学校(3年生以下)、中等教育学校、中学校の在籍者。高等学校卒業程度認定試験受験資格のある方、予備校生など。

参加申込方法

募集要項またはJBOウェブページにある「日本生物学オリンピック2012参加申込書」に記入して郵送するか、直接ウェブページの申込欄に必要事項を入力し、2012年4月2日(月)から5月31日(木)までの間に参加申込みをしてください(郵送は5月31日消印有効)。

●詳しくはJBOウェブページをご覧ください

<http://www.jbo-info.jp/>

参加申込についてのお問合せ・申込書送付先

(株)教育ソフトウェア内 科学オリンピック共通事務局

〒192-0081 東京都八王子市横山町10-2 八王子SIAビル2F

E-mail: info@contest-kyotsu.com

電話: 042-646-6220 (電話受付時間: 平日 12:00~13:00 17:00~19:00)

予選開催日時

オリンピック予選への挑戦は、その成績の如何に関わらず、すでに生物学への情熱に火がついたことを示します。

2012年7月15日

13:30~15:00

試験のスケジュール

●予選 (マークシート方式による理論問題を日本語で出題)

日程 2012年7月15日(日) 13:30~15:00(90分)

会場 全国約82会場の大学及び高等学校

成績上位約5%の方に優秀賞を授与。本選に進む約80名(うち約30名は高校2年生以下とする。)を選抜。予選では高等学校の学力レベルや学校で習う内容をふまえて生物学において基本的な考え方、総合的な学力を試す問題も出題。詳しくは「募集要項」、JBOウェブページ記載過去問(正解、解説付き)を参照。

●本選 (つくば大会)

国際生物学オリンピックの実験問題を模して作成される実験試験です。

日程 2012年8月17日(金)~8月20日(月) 3泊4日

会場 筑波大学第2エリア

この期間には実験試験のほか、生物学研究者との語らいを深める機会、研究施設での最先端研究体験、参加者同士の交流など工夫された合宿形式のプログラムが用意されている。本選までの成績優秀者には賞(メダルなど)が授与される。また高校2年生以下の成績優秀者約15名は3月実施の国際大会に参加する日本代表候補者となる。15名には、キャンベル「生物学」(丸善出版)のテキストによる国際レベルの生物学の学習が勧められる。

●代表選抜試験 (予選と本選の成績を総合して選ばれた)

国際生物学オリンピックと同等のレベルの問題が出題されます。

日程 2013年3月20日(水祝)

会場 科学技術館(東京都千代田区北の丸公園2-1)

日本代表として選ばれた生徒は、大学などの先生による講義、実験などによる特別講義、通信添削による指導などでスキルアップを図り、**スイス**の会場に派遣される。日本の中高生としてその優れた才能を発揮するとともに、世界の代表と友情を育み、困難を乗り越えてすばらしい未来実現を誓い合って来てもらいたい。

Q

皆さんはどのような動機でオリンピックに参加しましたか。

A

- 自分と同じ趣味をもった同年代の人たちに出会ってみたいから
- 学校の先輩がたなく数学・物理などの科学オリンピックに出て活躍しているのに憧れて、僕も好きな生物学で科学オリンピックに出てみたい!と思ったから
- 生物部に所属していた経験をいかせるような大会・コンテストに出たいから
- 高校に通うだけで出会えないような個性的な人々と出会いたいから

Q

予選ではどのような試験問題が出るのでしょうか。

A

およそ全国津々浦々、各地に指定されている試験会場にて一斉に7月15日13時30分から90分間マークシート方式の試験を実施します。あたかもセンター入試と似た形式ですが、内容はかなり違います。センター入試では、学んだことがどこで応用されたか到達度を試すことが第一義的な目標となります。しかし、オリンピックでは、理解力、応用力、考察力、科学的処理能力を必要とする、さまざまな難易度の問題が国際生物学オリンピックでの分野規定に従って広い分野から出されますので、日本での中学・高校での生物の指導要領に基づいた授業では、特に高2迄の生徒にとっても著しく困難であることは否めません。しかし、生物好きの生徒諸君は課外での自主研究などで修得した基礎知識や考える力を発揮して、これ迄高3に負けない成績を挙げています。今迄にない新鮮な体験に挑戦して下さい。

からず、学ぶことが多く得られ、次のステップアップにつながる筈です。ある研究者は、「生物五輪で鍛えた実力こそ将来につながるもので、大学受験にも強くなるだろう」と予言しております。出題分野などの詳しい説明は、募集要項やJBOウェブページに紹介されています。

Q

本選について説明して下さい。

A

かつては「生物チャレンジ」第二次試験と言っておりましたが2011から「日本生物学オリンピック」本選と名称を改めました。内容は変更ありません。予選トップ約80位までの生物学志望の高校生が全国から勢揃いし圧巻です。

男女比も相半ばです。実験観察をもとに試験問題が出ます。生物好きだからこそ堪能出来る、実にチャレンジに値する機会を体験するでしょう。2010の二次試験(つくば)に参加した佐々木さん(高3)は、此の時の感想を朝日新聞(11.01.31)にて「生物五輪は新鮮だった。全国から集まった78人の参加者と知り合え、多くのことを学んだ気がします。生物好きの中高生がこんなにもいて、遠い国に住んでいるように感じていた有名な進学校の人々たちもつうに「高校生」であることに、当たり前ですが、じかに触れることができて、新鮮でした」と述べています。2012年の本選は、サイエンスティーとして先導的な研究所や大学などが集合している環境に恵まれたつくば市に位置する筑波大学で、合宿生活を体験します。新しい友人と生物談義に花を咲かせ、将来の夢を膨らませましょう。

閉会式では、成績優秀者の表彰があり、年度を重ねるにつれ生物学オリンピックに理解のある大学が増えつつありますから上位入賞すればAO入試のチャンスも拓けるでしょう。



高校生の皆さんには自ら生き生きと学び、将来様々な分野で活躍していくために必要な基本的な素養を身につけてほしい。国際生物学オリンピックへの挑戦は必ずやその大きな糧となるでしょう。知性と感性の豊かな、そしてエネルギー溢れる若い皆さんの参加を期待しております。挑戦する勇気を!